

第3章

望ましい環境像と基本目標



3-1 計画の基本理念と環境の将来像

環境基本計画は、現在及び将来の世代が共に環境の恵みを享受しうるよう、「循環・共生・参加・国際的取り組み」の長期的目標に沿って持続可能な社会を構築していくための戦略を示すものです。

こうした環境基本計画の役割を踏まえ、この計画では次の基本理念を掲げてその実現を目指します。

計画の基本理念

- ① 市民に豊かな恵みをもたらす環境を継承する。
- ② 環境に大きな負担を与えない循環型社会をつくる。
- ③ 地球環境の保全や地域の環境保全活動に自主的に取り組む社会をつくる。



また、この基本理念に沿って実現を図る、大月市の環境の将来像を次のように設定します。

望ましい環境像

みんなで作ろう、住み続けたい緑と環境のまち・大月

3-2 環境の基本目標

前項に示した基本理念や環境の将来像を踏まえて、本計画の柱となる環境の基本目標を次のように定めます。

①山・川の豊かな自然や歴史文化資源を活かした、魅力あふれるまち

市域に広がる豊かな自然環境や数多くの歴史的遺産を、大月市民の共有財産として次代に継承するとともに、これらの資源を有効に活用した魅力あふれるまちづくりを目指します。

②健康で快適に安心して暮らせるまち

大気汚染、水質汚濁、騒音・振動などの生活環境上の問題が発生しないようにし、生活の質や安全性の向上につながる施設及び環境を整え、大月市民が健康で快適に、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

③省資源やりサイクルシステムを備えた、ごみのない清潔なまち

これまでの大量生産・大量廃棄の社会経済システムを見直し、資源を大切にしたり、環境への負荷の少ないまちづくりを目指します。

④市民みんなで環境への取り組みを实践するまち

環境保全に関わる諸課題に、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組んでいくことのできる仕組みを備えたまちづくりを目指します。

⑤地球環境の保全に貢献するまち

市民や事業者が地球温暖化・オゾン層破壊などの地球環境問題の重要性を認識し、次世代に伝えていくとともに、環境目標の達成に向けた地道な活動が地球環境保全に貢献するという意識をもって、日常の生活や業務の中で課題の解決に取り組んでいくまちづくりを目指します。